

連絡事項:TAの詳細が決まりました。

TAのオフィスアワーを開設します。講師とTAのオフィスアワーの使い分けについては、

授業に関する質問等は、両方で受け付け
宿題・試験の採点に関する問い合わせは、TA
最終成績に関する問い合わせは、岩本
となります。

[TAのオフィスアワー]

湯田道生 メールアドレス: m-yuda@rf7.so-net.ne.jp

毎週木曜日 13時－14時

マーキュリータワー・3401室

(オフィスアワー以外の面会希望の場合は、メールでアポをとること)

厚生経済学 (1)

市場の効率性

「効率的」とは？

競争的市場は効率的か？

パレート効率的

交換の効率性

消費と生産の効率性

限界代替率

限界変形率

厚生経済学の基本定理

生産の効率性

効用可能性曲線

技術的限界代替率

厚生経済学とは？

「である」と「べきである」を区別しなければならない。

- ・「実証経済学」(positive economics)は、「である」を考える。
- ・「規範経済学」(normative economics)「べきである」を考える。
- ・「厚生経済学」(welfare economics)は、資源配分と所得分配の規範的問題を考える。(厚生労働省の政策を考える、ではない)

資源配分の問題について、「べきである」の判断基準は？

アダム・スミスは、競争の結果、私的利益を求める個人は、「神の見えざる手」に導かれ、公共の利益を実現する、といった。

「神の見えざる手」は何をもたらすのか？

財政学・第2回

3

経済学者の回答は、「効率」

パレート効率性 (Pareto efficiency) とは？

社会にいる個人が消費から効用を得ていると考えよう。

u_i : 個人 i の効用, x_i : 個人 i の消費する財のベクトル, $u_i = u(x_i)$

・「誰かの効用を引き上げようと思えば、誰かの効用を悪化させなければならない」状態を、パレート効率的という。

・パレート効率的でない資源配分では、誰の効用を悪化させることなく、誰かの効用を引き上げる (パレート改善) ことができる

例: 橋の建設

利用者は橋ができるならば建設費・維持費以上の金額を支払ってもいいと考えているとする。この場合、利用者から税を徴収して、橋を建設することはパレート改善的な政策である。

財政学・第2回

4

パレート効率性の概念の使われ方

「パレート原理」

- ・パレート効率的でない状態を問題視し、パレート改善的な政策を実現していくべきとする考え方。
- ・単独の政策がパレート改善でなくても、組み合わせてパレート改善的な政策があるかもしれない。

例：

経済学部生A君は、商学部B先生のゼミに入りたい。B先生はA君をゼミに迎えたい。しかし、規則では「経済学部生は経済学部か後期共通ゼミが必修」である。A君はやむなく経済学部C先生のゼミに入ったが、勉強する意欲がわかなかった。

この状況を見て、経済学者はどう考えるか？

「神の見えざる手」の現代経済学での解釈

厚生経済学の基本定理

- 1 すべての競争的市場経済はパレート効率的である
- 2 すべてのパレート効率的な資源配分は、適当な初期の再分配をおこなうことで、競争的市場メカニズムによって達成できる

厚生経済学の基本定理は最も重要な定理のひとつであり、各レベルの授業でその解説がおこなわれる。

・入門 単一市場で、市場価格での取引で消費者余剰・生産者余剰が最大化されることを

・中級 2財が取引される経済で、エッジワース・ボックスを用いて説明する。

・上級 多数財が存在する経済で、凸集合、分離超平面の概念を用いて、数学的に厳密に証明する。

中級レベルでの基本定理の証明の方針

- [1] モデルを作る
- [2] パレート効率的な資源配分が満たす条件を求める
- [3] 競争的市場経済が満たす条件を求める
- [4] 両条件を見比べる

財政学・第2回

7

[1] モデルを作る

「 $2 \times 2 \times 2$ モデル」を考える。

2人 (クルーソー, フライデー)

2財 (リンゴ, みかん)

2要素 (土地, 労働)

[2] パレート効率的な資源配分の条件

- 1 交換 (消費) の効率性: 任意の2財の限界代替率がすべての個人で等しい
- 2 生産の効率性: 任意の2要素の技術的限界代替率がすべての企業で等しい
- 3 消費と生産 (生産物構成) の効率性: 限界変形率と限界代替率が等しい

財政学・第2回

8

・「交換の効率性」について、エッジワース・ボックスを用いて、説明する。

・経済で利用できるリンゴとみかんの量が固定されており、これをクルーソーとフライデーに配分することを考える。

・限界代替率とは、消費者が1単位の財1と交換してもよいと考える財2の量である。また、限界代替率は無差別曲線の傾きである。

・パレート効率的な資源配分とは、「クルーソーとフライデーの限界代替率が等しい」点である。

・このような点の集合を、エッジワースは契約曲線 (contract curve) と名づけた。(ところが、パレート効率性には、後の経済学者パレートの名前がついた)

[3] 競争的市場経済が満たすべき条件を求める

・競争的市場経済での効用最大化の条件は、限界代替率は相対価格に等しい。

・市場経済では、クルーソーとフライデーは(同じ)市場価格に直面する。

[4] [2], [3] の条件を見比べる。

・競争的市場経済では、クルーソーとフライデーの限界代替率が等しくなっている。

QED

【予告編】

パレート効率的な資源配分は一意には定まらない

パレート効率的な資源配分からどれを選ぶか？